

社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)レビューシート

団体名: 特定非営利法人北九州スポーツクラブACE

訪問調査日: 2014年9月4日(木)

評価大項目(分類)	評価中項目	絶対評価コメント	達成率
I. 組織ミッション(社会的使命)と事業の推進	[1]組織ミッション(社会的使命)の確立	組織ミッションは定款やホームページ、広報誌「北九州スポーツクラブACEだより『FACE』」等、多様なツールを使って公開されている。非営利組織としての位置付けが外部に対しパンフレットでわかりやすく示されている。組織ミッションを達成するための多様な事業としてスポーツイベント出張教室や各種講座、スポーツGOMI拾い大会の開催が確認できる。	14/24 達成率 58%
	[2]組織ミッションと事業の策定	広報誌やパンフレットにヴィジョンを掲載し、スタッフおよび多様なメンバーの共通認識を得る状況はうかがえるが、中長期ビジョン・計画として文章等は策定されていない。単年度事業計画は適切に作成され、理事会・総会において決定されているが年度ごとの特徴ある計画の策定までは至っていない。地元大学の単位認定講座等、外部との協働による単年度事業計画策定の取組みを聞き取ることができる。	
II. 組織と経営管理	[1]意志決定機関とガバナンス	意思決定機関として、理事会・総会(通常・臨時)を設置し、予算・事業計画及び決算・事業報告等の審議が行われ、承認されている状況が議事録から確認できる。理事長である事務局長が事業に専任しているが、より機動的な理事会の設置を課題としている状況を聞き取ることができた。福岡県内団体の組織に参加し、法令順守や専門スキルの向上に取り組む状況が確認できる。法人監事による内部監査が適切におこなわれている状況を監査報告書から確認することができる。	26/43 達成率 60%
	[2]適切な財務計画と執行・管理	予算書の策定はあるが中・長期的な視点を織り込んだ経営計画書は確認できなかった。多様な自主事業の他、他団体から委託されるトレーニング指導等、専門性の高い事業を行う他、多様な財源により運営されている。法人監事である税理士の指導により、納税等に関する適切な認識と対応が行われている状況を聞き取ることができた。	
	[3]職員と労働環境	職員の労働環境に関しては、就業規則を整備し、法人監事である社会保険労務士の指導のもと、管理が行われている状況を確認することができる。職責を定め、アルバイト職務規定により職制の違いや役割の明確化が図られている。人材育成に関する文書等は確認できないが、新人・3年目、指導者研修等を積極的に行っている状況を聞き取ることができる。	
III. 事務局の執行体制と管理	[1]組織・事務局体制の確立	法人事務所において事務局を設け、配布資料に記載した開所日時・時間帯に則った平日日中の電話対応および来客対応が行われている状況を聞き取ることができる。所轄官庁への届け出等、法人として必要な手続きは適切に行われ、直近の法人登記事項が事務所で確認できる。	27/31 達成率 87%
	[2]会計全般	経理処理に関するルールが定められ、証憑の管理等が適切に行われている状況を聞き取ることができる。会計規則等の管理規程は策定されていない。経理や税制に関する専門的な相談や支援をうけられるアドバイザーとして、法人監事である税理士がその任にあっているとの説明を受けた。	
	[3]事業を推進するための体制やルール	事業計画に基づいた事業が実施され、意思決定機関で審議しながら柔軟に新事業に取り組んでいる状況を聞き取ることができた。事業実施の成果等を多様なステークホルダーと共有するため、広報誌の定期発行やホームページでの掲載をしている。各事業の執行については、執行ルールによって運営され、毎週の会議で発行文書等の確認を行っている。事業評価についても事業後ミーティングでのフィードバック、関係機関への報告書提出等が行われていると説明を受けた。	
IV. 社会資源の活用	[1]社会資源(企業/行政/市民など)の連携と活用	法人として、地元大学生ボランティアを体系的・継続的に受け入れ、大学生のニーズに沿った活動を行えるようなサポート体制があることを聞き取ることができた。学校・他NPO・行政との協働の他、企業セクターとも常態的に協働があり、広報誌へのレシピ情報の提供等を受けている実績を確認できた。	14/16 達成率 87%
V. 情報の公開と社会的信頼	[1]情報の公開	法人の情報は、法人ホームページや行政のデータベースで公開がなされている。事業についての活動報告はホームページで定期的に情報更新がなされている。広報誌「北九州スポーツクラブACEだより『FACE』」は毎月町内全世帯へ配布されており、利用者等に確実な情報提供が行われていることが確認できた。	15/18 達成率 83%
	[2]第三者による評価	行政が募集する事業に提案事業が採択される等、継続的に事業企画に対する評価があることを聞き取れた。独立行政法人日本スポーツ振興センター totoからの助成実績を確認することができる。また、新聞・地元ラジオ等、複数のメディアに様々な活動内容が取り上げられている。	
VI. 組織のリスクマネジメントと社会的責任の追求	[1]組織のリスクマネジメント	重要書類およびデジタルデータの保管等は、適切に行われているが、管理規定は策定されていない。個人情報保護に関する取り扱い規定はホームページでプライバシーポリシーとして公開されていることを確認し、遵守に努めていることを聞き取ることができた。事業・活動に対するリスク管理は保険加入の他、スタッフ研修の機会を設けていることが聞き取れた。	14/18 達成率 77%
	[2]組織の社会的責任の追求	職員が他団体の理事に就任する等、市民社会の創造に積極的に参加している状況を確認することができた。環境への配慮・取り組みは、実施事業スポーツGOMI拾い等で子どもたちへの教育に取り組み、継続している状況を確認できた。	
<p>当法人は、スポーツを通じ「心身の健康を保つ、自分を表現する、競技力を高める」ため、「いつでも・どこでも・だれでも・そしていつまでも」というヴィジョンを掲げ、多様な市民に対しスポーツに接する機会を提供する事業を行っています。2007年の「ランニング」等教室事業からスタートし、現在では北九州市にクラブ施設を置き、地域に根付いた事業展開を行っています。福岡県内の複数大学と連携した取り組み継続にも特長があり、イベントのみならず定期的な事業に大学生ボランティアが積極参加する等、活気ある事務局です。なかでも3年間行っているスポーツGOMI拾いは、メディアにも多数取り上げられる特色ある自主事業です。また、ボランティア学生の教育サポートにも丁寧な取り組みが行われ、安全に関する指導や資格取得を援助しています。</p> <p>本法人は、若者を通じた町づくりの実践により、いつでも・どこでも・だれでも・そしていつまでもスポーツ・健康づくりを楽しめる社会ビジョンの実現に向けた活動を行っています。参加協力者の多さ、多様な他団体との協働の実績に、スポーツを通じた魅力ある事業企画力が伺えます。理事長兼事務局長の行政職経験とスキルを生かして適切にリーダーシップを発揮し、自主事業を積極的に展開する等、行政に依存しない運営を推進されています。また、現在制作中のホームページの整備により多様な組織情報の公開が行われるとともに、多様なステークホルダーとの中長期ビジョン・経営計画の共有、意思決定機関のガバナンスの整備に取り組まれることを期待し、本社会的認証システム－第三者認証(ステップ3)において認証しました。</p>			110/150 総合達成率 73%